JR北海道は18日、高波による盛り土の流出で運休している日高線鵡川―様似間について、道が海岸を保全するための離岸堤を一部被災箇所の沖に整備することを、復旧の条件とする方針を固めた。JRは近く道に意向を伝える。総額38億円の復旧工事の費用分担に加え、道が数億円規模の離岸堤整備を受け入れるかどうかが、復旧に向けた協議の焦点となる。

離岸堤は海岸が波で浸食されるのを防ぐために海岸線と平行に設置する簡易な防波堤で、消波ブロックを積み重ねた形状が多い。JRによると、離岸堤の整備を求めるのは豊郷（とよさと）―清畠（きよはた）間の350㍍。ここでは大きく砂地がえぐられ、線路付近まで海岸が迫り、列車が安全に走行できない状況になっている。一方で近くの離岸堤のある砂地は浸食を免れているという。

JRの島田修社長は14日の記者会見で「離岸堤がなければ（一度復旧しても）時間がたつと海岸が削られてしまう」と説明。海岸保全事業はJRのような民間企業ではなく、道など行政機関が行うべきだとの認識を示していた。

この時点では離岸堤の整備を復旧工事の条件と明示していなかったが、あらためて精査した結果、JRは「離岸堤がなければ安全に運行を継続することは難しい」（幹部）と判断した。

昨年1月と9月の被災箇所の復旧工事費は総額38億円で、道と国、JRが3分の1ずつ負担する案が浮上している。JRは復旧後の運行維持経費についても「（膨大な赤字路線の経費を）当社単独では負担しきれない」（島田社長）と沿線自治体に一定の財政負担を求めている。これに道による離岸堤整備が新たな条件として加わることになる。

今後のJR、国、道、沿線自治体による協議で、道などの費用負担の見通しが立たなければ、JRは復旧を断念せざるを得ないとし、一部区間の廃止論が現実味を帯びてくる可能性もある。

押し寄せるヒト・カネ

投資誘う道内高級旅行

①富裕・中間層に照準

世界的な映画祭で知られるフランス・カンヌ。地中海を望む同じ会場で昨年12月、世界トップ級の富裕層に照準を絞った毎年恒例の旅行商談会「ILTM」（インターナショナル・ラグジュアリー・トラベル・マーケット）が開かれた。集まったのは欧米やアジアの旅行業関係者3500人。旅行商品の売り手1500社がブースを構え、世界各国の資産家を顧客に持つバイヤー（買い手）を招き入れて旅行商品をアピールする。

道内関係者で初参加となった札幌の旅行会社プレミアム北海道社長の張相律さん(45)の姿もあった。「北海道は四季折々の魅力があり、ゴルフ、スキーはもちろん、流氷の上空を飛ぶ気球ツアーも楽しめます」。3日間で約40社と面談、道内の高級旅館やリゾート地、食材などを紹介するカラー冊子を使いPRした。

ソムリエでもある香港のバイヤーには道産ワインの魅力も伝え、帰国後、「5泊で1人40万～50万円のグルメツアーの見積もりを」と依頼された。中国の著名スポーツ選手の家族旅行の商談も舞い込んだ。

ILTMのパーティーで談笑するプレミアム北海道の張社長（右端）。世界トップクラスの顧客を抱えるバイヤーと情報交換を重ねることで、ビジネスを深めていく（広田孝明撮影）

2014年の訪日外国人が宿泊や飲食、買い物などに支出した額は平均15万1174円（観光庁調べ、日本までの渡航費を除く）で、国・地域別では、中国が最高水準の23万1753円。張さんは、自身の出身地でもある中国などアジアで急増する桁違いの富裕層に目を向ける。

中国の民間経済研究所の調べでは、資産600万元（約1億1千万円）以上の国内富裕層290万人の半数以上が13年中に少なくとも1回は海外旅行に出かけ、平均支出額は6万4千元（約115万円）。資産平均8200万元（約15億円）クラスでは、14年は平均20日の海外旅行で同36万元（約650万円）を支出している。

道内でも、宿泊先にすし職人を呼び、個人的にマグロ解体を楽しむアジアの富裕層もいる。張さんも1人当たり1泊最大10万円程度の宿泊単価を想定。ILTM参加はそうした顧客につながる入り口だ。「ここは世界の頂点を知る人たちが集まる。何度も出展し彼らの信用を高めたい」

張さんは、富裕層を道内観光に呼び込むのはゴールではなくスタートという。北海道の自然や食の優位性を訴え、不動産購入や食品会社への出資、日高産の競走馬購入など投資を働き掛けるチャンスだ。今後は中国やシンガポールなどILTMで出会ったアジアのバイヤーを中心に提携を進める。「自分の不動産や事業が道内にあれば、何度も来るようになる。私たちが目指すのは、旅行をビジネスにつなげる富裕層専門のコンシェルジュ（よろず案内係）企業です」

◇

道内を訪れる外国人観光客はこの10年で4倍に膨らみ、その9割はアジアが占める。観光が道内の基幹産業と言われて久しいが、この先どのような可能性があり、課題が横たわるのか。「つながるアジア」の第4部は、アジアのマネーを呼び込む道内観光の現状を探る。（経済部の広田孝明、堂本晴美、今川勝照が担当し、5回連載します）

つながるアジア

2面に続く

太平洋側を中心に大荒れの天気となった。列車の運休や道路通行止めなど交通網が乱れ、20日にかけてはオホーツク海側で記録的な大雪となる恐れがある。札幌

潮や高波に厳重な警戒を呼び掛けている。

（29面＝交通に乱れ）

・

気象台によると、18日昼すぎから道南などで風雪が強まり、19日午前0時まで

暴風雪の中、自宅の車庫を前にボディーの底がつかえ道路端で雪に埋まる車＝18日午後9時15分、渡島管内七飯町上軍川（国政崇撮影）

七飯町大沼で28ﾁｾﾝ、森町で22ﾁｾﾝを観測。JR函館線で列車の進路を切り替えるポイントが雪で動かなくなるトラブルが相次いだほか、立ち往生する車もあった。

低気圧は発達しながら19日朝には釧路沖に進み、道内に最も接近する見通し。太平洋側東部は大雪のほか、昼前まで根室市などで高潮への注意が必要だ。

その後は低気圧の動きが遅くなるため、同じ地域で長時間にわたり雪が降る可能性がある。オホーツク海側の19日夕までの24時間降雪量は1㍍と予想され、20日も降り続き、総降雪量が2㍍を超える恐れもある。

18日は空の便やフェリーも欠航。JR北海道が19日、札幌―帯広・釧路間の特急全22本を含む列車201本の運休を決めるなど、交通の混乱が続きそうだ。

道教委によると、オホーツク、十勝、釧路、根室管内の小中高校、特別支援学校216校が19日の臨時休校を決定。このうち釧路、帯広など13市町村の全小中学校が臨時休校となる。

まなぶんクイズ
新聞（しんぶん）めくり答（こた）えをさがそう

寒い日が続くね。日本で観測を始めてから最も低い気温になった場所が北海道にあるよ。どこかな？

問題作成・北海道社会科教育連盟

WHY? HIRODAI
BECAUSEはここにある！
国立大学法人
弘前大学
〒036-8560 青森県弘前市文京町1
TEL.0172-39-3122
← 入試情報はこちら

きょう 6時 9 12 15 18 21 24 降水確率 20(水) 21(木) 22(金)